

役員所感

副理事長 飛田 剛一

【基本方針】

高度成長期以降、経済は地方から大都市へと急激な人口流出・経済一極化を引き起こしました。また高度情報化や交通インフラの整備により価値観は多様化した一方、地域への愛着は希薄化し、それに伴い地域独自の産業・文化の後退、更には地域コミュニティの軟弱化が進んでいるのが昨今の現状ではないでしょうか。そんな時代だからこそ、まず我々がこの地域をよく知り、よく学び、その中で責任を持ち「この地域に本当に必要とされる事とは」を常に意識しながら、行動して行かなければならないと考えます。

では、果たして我々の住むここ上越において本当に必要とされる事とはいったい何でしょうか。私自身その答えは日々の活動の中にあると感じております。年々、社会環境の変化と共に我々メンバーも含め、個人のライフスタイルにおける価値観の相違が大きくなっている傾向の中、人それぞれに感動のカタチの違いはありますが、そこに集う仲間が志同じ、大きな一つの目標に向かって共に活動し、その結果として地域が変わり、社会が変わり、更に我々を取り巻く環境が変化し、そして本当に必要とされる事だからこそ、その変化が継続性を持ち未来へと継承されて行くのではないのでしょうか。結果、青年会議所といった組織が魅力を持つ事にも繋がると考えます。むろん魅力や感動の無いところに、人は集まって来ません。魅力ある組織であり続ける為には、そのあり方や改革も必要です。ただし変えてはならぬもの、変えなければならないものをしっかり認識、吟味した上で改革して行かなければなりません。今まで築き上げて来た素晴らしい理念のもと、これからの時代にあった、またこれからも地域から本当に必要とされ、メンバーが胸を張って誇れる活動が必要不可欠ではないのでしょうか。

我々 J A Y C E E が、率先し行動する事で、明るい豊かな社会を築く事が出来ます。本年度は大島理事長の下、したたか且つ自信と誇りを胸に副理事長として、また一人の経済人としても、自分自身の責任を自覚し、更に英知と勇気と情熱を持ち「つながる」ことで、この地域が真の豊かなまち上越となる事を確信し、邁進してまいります。